



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

「アブラハムが生まれる前から、「わたしはある」」

聖書(ヨハネ福音書 8章 58節)

牧師 河合裕志

アブラハムって聞いたことある？アブラハム・リンカーン、そう、米国16代大統領にこれがついてる。アブラハムは聖書に出てくる人。その「創世記」に。今から4千年も昔の人。彼は当初カルデアのウルに住んでいた。今日のイラクのユーフラテス川沿いの町に。そんな彼にある時神よりお告げがあった。

「あなたは生まれ故郷、父の家を離れてわたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民にし、あなたを祝福し、あなたの名を高める。地上の氏族はすべてあなたによって祝福に入る」。そう言われて彼は重い腰を上げ旅立ち、今日のパレスチナへと入って行く。

そして彼の末裔からモーセ、イエス、マホメットといったユダヤ教、キリスト教、イスラム教の元祖が生まれて来る。これら三大宗教が等しく信仰の父として尊敬してやまないのがアブラハム。(それならそれでこの三宗教、仲良くすればいいのに)

今イエスはその偉大なアブラハムが生まれる前から、「わたしはある」と口にした。これは理解に苦しむ言葉。イエスは2千年前の人。なんでアブラハム誕生の前から存在するなんて言える？気がおかしいんじゃない？

ない？確かにそう思われても仕方ない。

「わたしはある」(エゴ・エイミ=I am)も変な言い方。ここにはモーセに示された神の名が関係しているのではないか。モーセ(紀元前1200年代)は神の山ホレブ(シナイ)でエジプトで奴隷状態にあるイスラエル人を脱出させるようにと神より命じられる。その際神の名を問うたところ、「わたしはある。わたしはあるという者だ」と告げられる(出エジプト記3章)。

今イエスの思いはここにいていたのではないか。「わたしはある」、これを自身に適用。ということは、自分は神と等しい存在だ、と宣言したことになるのでは？従って私は永遠者。アブラハムよりズット昔より存在したことに。イエスは常に父なる神をたてていたけど。自分はその子たる神だと。

このイエスの発言にユダヤ人たちは石を取り上げて投げつけようとした。彼らにはイエスは人間なのに自身を神とするポートクの罪を犯していると映った。無理からぬこと。しかしイエスは永遠者として今も私達と共にいてくれるから有難い。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時